

これからの医療の目指すもの

国民の生命と健康を 守り抜く

少子化、超高齢化が進むなか、医師・看護師不足や国民皆保険の危機など、私たちの健康を守るための医療が大きく揺らいでいる。常に患者の目線から見ようとするメディア側と、専門家集団として国民の立場でよりよい医療を追求してきた日本医師会とが、「これからの医療の目指すもの」というテーマで語り合った。日本医師会の新リーダーは、就任から6か月目を迎えた横倉義武会長である。



日本医師会 会長
横倉 義武

福岡県出身、久留米大学医学部卒業。
2006年に福岡県医師会会長、
2010年より日本医師会副会長を務め、
本年4月より会長に就任。

新しい地域医療の再生を支える

医療のプロフェッショナル集団として 国民の声を社会に反映させたい

南 日本医師会の名は知られていても、その歴史は知られていないことが多いのではないのでしょうか。

横倉 そうですね。日本医師会には長い歴史をもち、前史は1916(大正5)年に世界的な細菌学者である北里柴三郎先生

を中心に設立された大日本医師会にまで遡ります。当時は医師全員が強制加入でしたが、現在では任意加入で、全国の病院や診療所の医師約16万6千人が加入しています。

南 歴史とともに、その精神も少しずつ変わってきたのではないのでしょうか。

横倉 医師はめざましい医学の進歩とともに、生涯にわたる学習をしていかなければなりません。医師会は、専門職業集団であると同時に、互いに研鑽し合う学術専門団体の役割も

医療の崩壊を食い止める 「かかりつけ医」の役割

南 医療崩壊という言葉が聞かれるようになって久しいのですが、各地の医療は改善しているのでしょうか。社会全体の仕組みの中で考えなければ解決できない問題ではないでしょうか。

横倉 医療崩壊によって、医療の地域格差が生じています。人口減が続く地方だけでなく、実は人口が集中する大都市でも、大病院が立ち行かなくなるなどの現象が顕在化しています。

南 医師不足も問題の一つではないでしょうか。

横倉 地域毎の偏在が顕著です。先進の医療技術が修得でき、処遇のよい都市に医師が集中するため、地方の医師不足が深刻です。国立大学医学部では地域の病院勤務を条件とする「地域枠」を設けました。今後、その成果に期待しています。

南 産婦人科や外科など、一部の診療科で医師が不足している

南 本来、日常生活では近所の

南 健康や医療に関する情報の発信も重要ですね。先の東日本大震災は地域医療にも重大な被害をもたらしましたが、全国から医師らが被災地に駆けつけ、

南 「何でも反対する団体」といった誤解は、そつしたことで生じているんですね。

横倉 私たちは決して自分たちの利益のみを追求しているのではなく、医療を通し、国民の声を反映される社会になればと願って活動していることをご理解いただきたいと思います。

横倉 私の地元、福岡県みやま市では、診療所と中規模病院、大学病院がそれぞれ役割を分担し、急性期医療から介護、在宅医療まで、切れ目のない医療が受けられる仕組みづくりが進んでいます。「かかりつけ医」(診療所医師)を中心とした医療連携の促進が重要です。

横倉 健康の不安や病気の悩みを解決してくれるのが、自分の体のことをよく知ってくれている「かかりつけ医」です。大きな病院で先進の医療を修得した、経験豊富で優秀な医師も

南 「何でも反対する団体」といった誤解は、そつしたことで生じているんですね。

横倉 私たちは決して自分たちの利益のみを追求しているのではなく、医療を通し、国民の声を反映される社会になればと願って活動していることをご理解いただきたいと思います。

横倉 健康の不安や病気の悩みを解決してくれるのが、自分の体のことをよく知ってくれている「かかりつけ医」です。大きな病院で先進の医療を修得した、経験豊富で優秀な医師も

南 「何でも反対する団体」といった誤解は、そつしたことで生じているんですね。

横倉 私たちは決して自分たちの利益のみを追求しているのではなく、医療を通し、国民の声を反映される社会になればと願って活動していることをご理解いただきたいと思います。

横倉 私たちは決して自分たちの利益のみを追求しているのではなく、医療を通し、国民の声を反映される社会になればと願って活動していることをご理解いただきたいと思います。



読売新聞東京本社 編集局医療情報部長
南 砂

ベルギー・セント大学研究員、
日本医科大学助手(精神医学)を経て、
1985年に読売新聞社入社。
編集委員などを経て2011年より現職。

南 健康や医療に関する情報の発信も重要ですね。先の東日本大震災は地域医療にも重大な被害をもたらしましたが、全国から医師らが被災地に駆けつけ、

南 「何でも反対する団体」といった誤解は、そつしたことで生じているんですね。

横倉 私たちは決して自分たちの利益のみを追求しているのではなく、医療を通し、国民の声を反映される社会になればと願って活動していることをご理解いただきたいと思います。

守りたい国の宝「国民皆保険」 地域の実情に合った医療を

南 今年の会長選挙の際にスローガンとして掲げた「継続と改革」「地域から国へ」は、どのようなことですか。

横倉 「継続」とは、わが国のすばらしい医療制度「国民皆保険」の維持です。国民皆保険のおかげで、病気にしても、だれもがいつでも適切な医療を受けられるため、日本は世界に誇る健康長寿国になりました。この制度をぜひ守り抜いていかねばなりません。

南 「何でも反対する団体」といった誤解は、そつしたことで生じているんですね。

横倉 私たちは決して自分たちの利益のみを追求しているのではなく、医療を通し、国民の声を反映される社会になればと願って活動していることをご理解いただきたいと思います。

